

# インテル® デスクトップ・ボード DG33TL BIOS セットアップ・プログラムの 使用方法

---

Order Number: D90031-002-J4001

## はじめに

このマニュアルは、インテル® デスクトップ・ボード DG33TL の BIOS セットアップ・プログラムの使用方法に関する情報を提供するものです。

## 対象

このマニュアルは、専門的な知識を持つ技術者を想定しています。一般的なお客様を対象としたものではありません。

## 使用目的

すべてのインテル® デスクトップ・ボードは、家庭、オフィス、学校、コンピューター・ルームなどで使われるパーソナル・コンピューター向けの情報技術機器 (I.T.E) として検証されています。医療、産業、アラーム・システム、試験装置などのその他の PC および PC 以外の組み込み用途または環境に関しては、インテルが別途検証しない限り本製品の適合性がサポートされない場合があります。

## 凡例

このマニュアルでは次のようなマークが使用されています：



### 警告

警告はハードウェアの損傷やデータの損失を防止する方法をユーザーに通告します。



### ノート

ノートは、重要な情報に注意を促します。

## 用語

下表では、このマニュアルで使用されるいくつかの一般的な用語について説明します。

用語	説明
GB	ギガバイト (1,073,741,824 バイト)
GHz	ギガヘルツ (10 億ヘルツ)
KB	キロバイト (1024 バイト)
MB	メガバイト (1,048,576 バイト)
Mbit	メガビット (1,048,576 ビット)
MHz	メガヘルツ (100 万ヘルツ)

## 4 BIOS セットアップ・プログラムの使用方法

BIOSセットアップ・プログラムを使用すると、コンピューターのBIOS設定を閲覧、変更することができます。BIOSセットアップ・プログラムは、自己診断テスト (POST) のメモリーテスト開始後、オペレーティング・システムの起動前に<F2>キーを押すことにより起動します。



### ノート

このセクションで説明しているBIOSセットアップ・メニューでは、最新の設定項目が反映されていない可能性があります。最新のBIOS設定項目については、インテル® デスクトップ・ボードのテクニカル・プロダクト・スペシフィケーション (技術仕様書) または次のWebサイトを参照してください:

<http://support.intel.com/support/motherboards/desktop/> (英語)

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/> (日本語)



### ノート

後で参照するために、現在の設定値を書きとめておいてください。設定を変更したときには、この記録もそれに合わせて更新してください。



### ノート

このセクションで説明しているセットアップ・メニューは DPP3510J.86AというBIOS identifierを持つデスクトップ・ボードのメニューです。

実際の量産版BIOS、量産品CPUでは表示されないメニューがありますので、ご注意ください。

表 1にBIOSセットアップ・プログラム・メニューバーを示します。

**表 1. BIOS セットアップ・プログラム・メニューバー**

Maintenance	パスワードのクリア、拡張コンフィグレーションの設定 MU (マイクロコード) の表示等
Main	ハードウェア・コンポーネントへのリソースの割り当て
Advanced	チップセットで利用できる高度な機能の設定
Security	パスワードおよびセキュリティー機能の設定
Power	電源管理機能の設定
Boot	起動オプションおよび電源管理の選択
Exit	プログラムオプションを設定する変更の保存または破棄

\* Maintenance メニューは Configure モード (ジャンパー2-3) の場合のみ表示します。

表 2にメニュー画面で使用できるファンクション・キーを示します。

**表 2. BIOS セットアップ・プログラムのファンクション・キー**

キー	説明
<←> または <→>	メニュー画面の切り替え
<↑> または <↓>	カーソルの上下
<Tab>	カーソルを次のフィールドに移動
<Enter>	コマンドの実行またはサブメニューの選択
<F9>	現在のメニューの初期設定値をロード
<F10>	現在の設定値を保存してセットアップ・プログラムを終了
<Esc>	メニューの終了

## Maintenance メニュー

Maintenance	Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Clear BIOS Passwords			<No>			
Unlock Intel (R) QST			<Normal >			
Fixed Disk Boot Sector						
Intel Enhanced Debug			<Disable>			
Processor Stepping			000006FB		← →	Select Screen
Microcode Revision			XXXXXXXXXX		↑ ↓	Select Item
Ratio Actual Value			9		Enter	Select Submenu
					F1	General Help
					P9	Setup Defaults
					F10	Save and Exit
					ESC	Exit

表 3に示すメニューはセットアップ・パスワードのクリアーに使用します。セットアップはConfigureモードの場合にのみこのメニューを表示します。Configureモードの設定方法については26ページを参照してください。

表 3. Maintenance メニュー

項目	オプション	説明
Clear BIOS Passwords	• オプションなし	ユーザーパスワードおよびスーパーバイザー・パスワードをクリアー
Unlock Intel(R) QST	• <b>No (工場出荷時)</b> • Yes	インテル® クワイエット・システム・テクノロジーの有効(No)・無効化(Yes)
Fixed Disk Boot Sector	• <b>Normal (工場出荷時)</b> • Write Protect	BIOS による HDD ブートセクター書き込み禁止設定 (ウイルス感染防止設定)
Intel Enhanced Debug	• <b>Disable (工場出荷時)</b> • Enable	拡張デバッグモードを利用する・しない
Processor Stepping	オプションなし	プロセッサのステッピング識別子
Microcode Revision	オプションなし	プロセッサのマイクロコードアップデートのリビジョン表示
Ratio Actual Value	オプションなし	現在の倍率値

## Main メニュー

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
BIOS Version		DPP3510J.86A. xxxx. xxxx			
Processor Type		Intel (R) Core(TM)2 Duo CPU E6850 @ 3.00GHz Intel (R) EM64T Capable			
Core Multiplexing Technology		<Enable>			
Processor Speed		X.XX GHz			
System Bus Speed		XXX MHz			
System Memory Speed		XXX MHz			
L2 Cache RAM		XXX KB			
Total Memory		XXX MB			
Memory Mode		Dual Channel			
Memory Channel A Slot 0		XXX MB			
Memory Channel A Slot 1		Not Installed			
Memory Channel B Slot 0		XXX MB			
Memory Channel B Slot 1		Not Installed			
Language		<English>		← →	Select Screen
Additional System Information				↑ ↓	Select Item
System Date		<MM/DD/YYYY>		Enter	Select Submenu
System Time		<HH: MM: SS>		F9	Setup Defaults
				F10	Save and Exit
				ESC	Previous Page

表 4でメイン・メニューの各項目を説明します。このメニューは、プロセッサとメモリーに関する情報を表示し、システムの日付と時刻を設定するために使用します。

表 4. Main メニュー

項目	オプション	説明
BIOS Version	オプションなし	BIOS のバージョンを表示
Processor Type	オプションなし	プロセッサのタイプを表示
Core Multiplexing Technology	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable</li> <li><b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	Core 2 Duo プロセッサ使用時に強制的にシングル・プロセッサとして利用する場合、Disable に設定
Processor Speed	オプションなし	プロセッサのスピードを表示
System Bus Speed	オプションなし	システムバス・スピードを表示
System Memory Speed	オプションなし	システムメモリー・スピードを表示
L2 Cache RAM	オプションなし	L2 キャッシュのサイズとそれが ECC 対応であるかどうかの表示
Total Memory	オプションなし	RAM の合計容量を表示
Memory Mode	オプションなし	シングルまたはデュアルチャネル動作の表示
Language	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>English (工場出荷時)</b></li> <li>Français</li> </ul>	BIOS が使用する言語を選択
Additional System Information	DMI-BIOS で規定されたシステム固体情報の表示	システム、ボード、筐体などの情報、Intel Management Engine ファームウェア情報などの情報
System Date	Month, day, year	現在の日付を指定
System Time	Hour, minute, and second	現在の時刻を指定

## Advanced メニュー

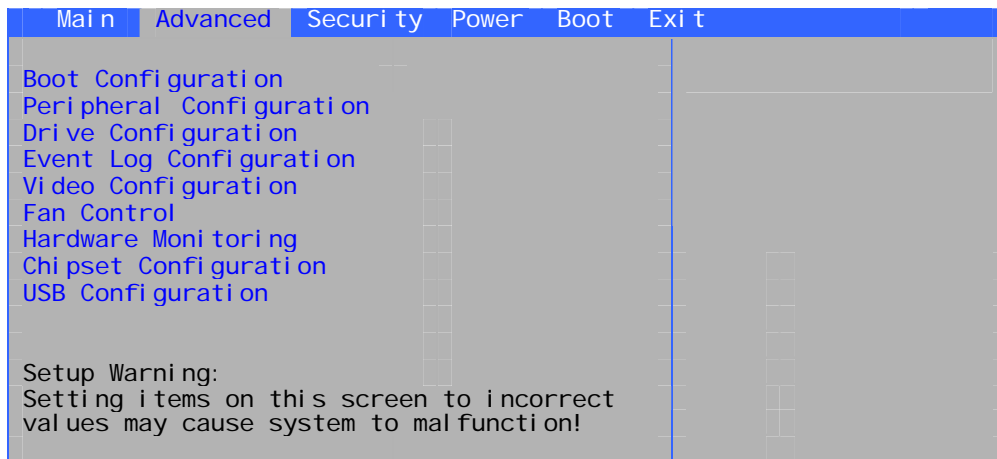


表 5 にメニューの各項目を説明します。このメニューはチップセットから利用できる高度な機能を設定するために使用します。

表 5. Advanced メニュー

項目	オプション	説明
Boot Configuration	オプションなし	Plug & Play および Numlock キーを設定。選択時に Boot Configuration サブメニューを表示
Peripheral Configuration	オプションなし	周辺機器ポートおよびデバイスを設定。選択時に Peripheral Configuration サブメニューを表示
Drive Configuration	オプションなし	接続されたディスクデバイスのタイプを指定。選択時に Drive Configuration サブメニューを表示
Event Log Configuration	オプションなし	イベントロギングを設定。選択時に Event Log Configuration サブメニューを表示
Video Configuration	オプションなし	ビデオ機能を設定。選択時に Video Configuration サブメニューを表示
Fan Control	オプションなし	FAN 機能を設定。選択時に Fan Control サブメニューを表示
Hardware Monitoring	オプションなし	ファン/電圧/温度状況を表示
Chipset Configuration	オプションなし	チップセット機能を設定。選択時に Chipset Configuration サブメニューを表示
USB Configuration	オプションなし	USB 機能を設定。選択時に USB Configuration サブメニューを表示

## Boot Configuration サブメニュー

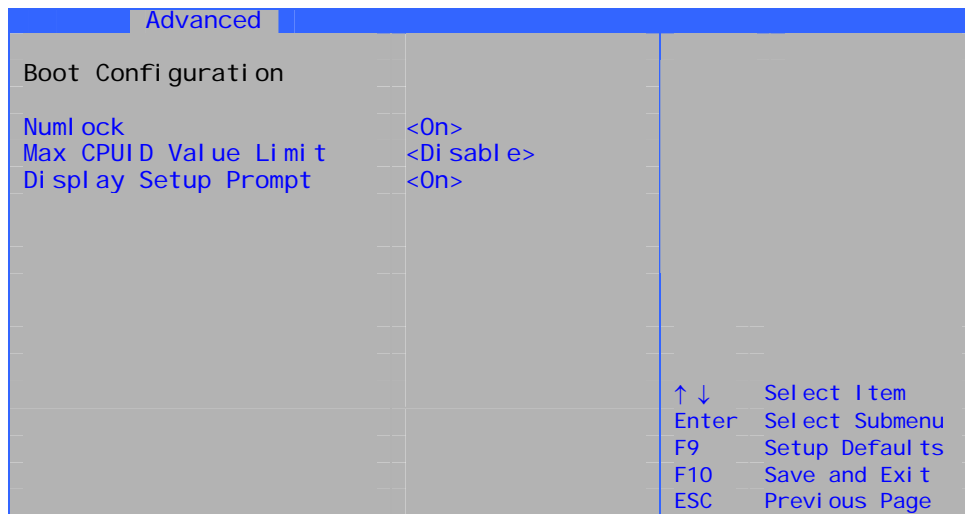


表 6に示すサブメニューは、Plug & PlayオプションおよびNumlockキーの電源投入時の状態を設定するために使用します。

表 6. Boot Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
Numlock	<ul style="list-style-type: none"> <li>Off</li> <li><b>On (工場出荷時)</b></li> </ul>	キーボード・テンキーの Numlock 機能の電源投入時の状態を指定
Max CPUID Value Limit	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>Enable</li> </ul>	レガシー・オペレーティング・システムから拡張 CPUID 機能を搭載したプロセッサを起動可能にする
Display Setup Prompt	<ul style="list-style-type: none"> <li>Off</li> <li><b>On (工場出荷時)</b></li> </ul>	起動画面ロゴ表示時の BIOS-Settings (F2) メッセージの表示

## Peripheral Configuration サブメニュー

Advanced	
Peripheral Configuration	
Serial Port	<Enable>
Enhanced Consumer IR	<Enable>
HD Audio Link and BP/FP Audio out	<Enable Both>
On-board LAN	<Enable>
Onboard 1394	<Enable>
	↑↓ Select Item
	Enter Select Submenu
	F9 Setup Defaults
	F10 Save and Exit
	ESC Previous Page

表 7に示すサブメニューは、マザーボード上の周辺機器設定に使用します。

表 7. Peripheral Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
Serial Port	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> <li>• Disable</li> </ul>	シリアルポートの有効または無効
Enhanced Consumer IR	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disable(工場出荷時)</b></li> <li>• Enable</li> </ul>	拡張コンシューマーIR の有効または無効
HD Audio Link and BP/FP Audio out	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Both (工場出荷時)</b></li> <li>• Disable Both</li> <li>• Disable Only BP/FP Audio</li> </ul>	HD オーディオリンクと BP/FP オーディオ出力の設定
On-board LAN	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	オンボード LAN の有効または無効
Onboard 1394	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	オンボード 1394 の有効または無効

## Drive Configuration サブメニュー

Advanced	
Drive Configuration	
ATA/IDE Mode	<Native>
Configure SATA as	<RAID>
S. M. A. R. T.	<Enable>
Detected SATA Device:	Xxxxxxx
Detected SATA Device:	Xxxxxxx
Detected SATA Device:	Xxxxxxx
Hard Disk Pre-Delay	[0]
	↑ ↓ Select Item
	Enter Select Submenu
	F9 Setup Defaults
	F10 Save and Exit
	ESC Previous Page

表 8に示すサブメニューはATA/IDEデバイスのオプションを設定するために使用します。

表 8. Drive Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
ATA/IDE Mode	<ul style="list-style-type: none"> <li>Legacy</li> <li><b>Native (工場出荷時)</b></li> </ul>	統合 IDE コントローラーの指定 Legacy はレガシーIDE 動作を要求する OS 用に最大 2 つの IDE チャンネルを有効にする Native はすべての SATA および PATA リソースを有効にする
Configure SATA as	<ul style="list-style-type: none"> <li>IDE</li> <li>RAID</li> <li>AHCI</li> </ul>	ICH9 SATA インターフェイスの設定 RAID または AHCI 設定では、OS インストール時に(F6)フロッピーによるドライバー・インストールが必要 AHCI は、オンボード・オプション ROM 無効
S.M.A.R.T.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable</li> <li><b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	HDD の SMART モニター機能の有効・無効
Hard Disk Pre-Delay	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>[0] (工場出荷時)</b></li> <li>[5][10][15][20]他</li> </ul>	ハードディスク・ドライブの pre-delay(起動待ち時間)を指定。 BIOS がシステムの IDE ドライブの検出を試みる前に遅延時間を挿入 (←)キーを使って設定し、Enter を押す)

## Event Log Configuration サブメニュー

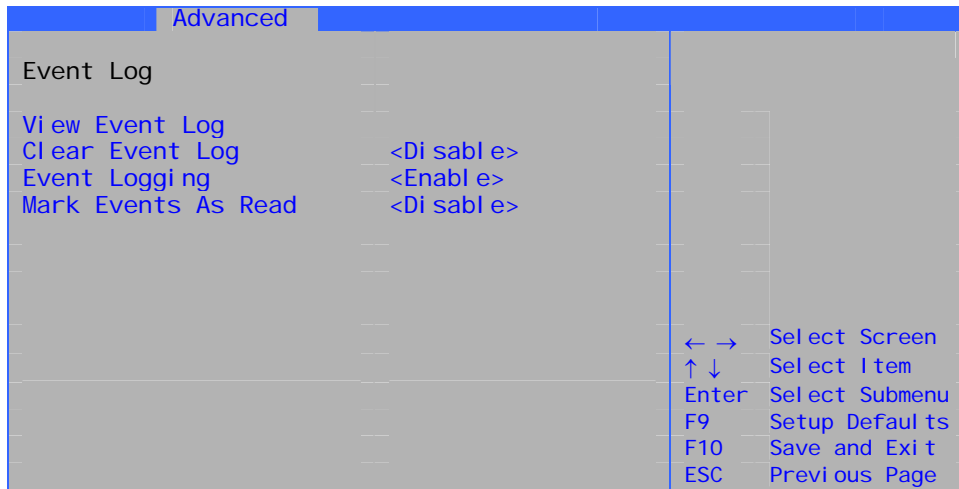


表 9に示すサブメニューは、イベントロギング機能の設定に使用します。

表 9. Event Log Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
View Event Log	<Enter>	DMI イベントログの内容を閲覧
Clear Event Log	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>• Enable</li> </ul>	イベントログ中のすべてのイベントを破棄 (再起動時にクリアー実行)
Event Logging	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	イベントロギングの有効または無効
Mark Events As Read	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>• Enable</li> </ul>	イベントログ中のすべての DMI イベントを既読としてマーク

## Video Configuration サブメニュー

Advanced	
Video Configuration	
DVMT Mode	<DVMT>
IGD DVMT Memory	<128 MB>
IGD Aperture Size	<256 MB>
PEG Negotiated Width	xxxxxxxxxxxx
Primary Video Adapter	<Auto>
	↑ ↓ Select Item
	Enter Select Submenu
	F9 Setup Defaults
	F10 Save and Exit
	ESC Previous Page

表 10に示すサブメニューはビデオ機能の設定に使用します。

表 10. Video Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
DVMT Mode	<ul style="list-style-type: none"> <li>DVMT</li> <li>FIXED</li> </ul>	ビデオメモリー容量の割り当て方法 (自動または固定)
IGD DVMT Memory	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>128 MB (工場出荷時)</b></li> <li>256 MB</li> <li>Maximum DVMT</li> </ul>	DVMT 選択時の最大ビデオメモリー容量
IGD Aperture Size	<ul style="list-style-type: none"> <li>128 MB</li> <li><b>256 MB (工場出荷時)</b></li> </ul>	メインメモリーに確保する Aperture Size の容量
PEG Negotiated Width	<ul style="list-style-type: none"> <li>オプションなし</li> </ul>	
Primary Video Adapter	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Auto (工場出荷時)</b></li> <li>Int Graphics (IGD)</li> <li>Ext PCIE Graphics(PEG)</li> <li>Ext PCI Graphics</li> </ul>	システムの起動時に最初にアクティブになるディスプレイ・デバイス・インターフェイスの選択



## Hardware Monitoring サブメニュー

Advanced		
Hardware Monitoring		
CPU Die/Package Temperature	xx. xx	C
Motherboard Temperature	xx. xx	C
ICH Temperature	xx. xx	C
MCH Temperature	xx. xx	C
+12v	xx. xxx	V
+5v	xx. xxx	V
+3.3v	xx. xxx	V
MCH Vcc	xx. xxx	V
CPU 1 Vccp	xx. xxx	V
CPU Cooling Fan	xxxx	
Chassis Inlet Fan	xxxx	
Chassis Outlet Fan	xxxx	
Press Escape to continue		

表 12に示すサブメニューはファン/電圧/温度の状況を表示します。

**表 12. Hardware Monitoring サブメニュー**

項目	オプション	説明
CPU Die/Package Temperature	• オプションなし	CPU 温度
Motherboard Temperature	• オプションなし	CPU ソケット周辺温度
ICH Temperature	• オプションなし	ICH 温度
MCH Temperature	• オプションなし	GMCH 温度
+12v	• オプションなし	+12V 電圧
+5v	• オプションなし	+5V 電圧
+3.3v	• オプションなし	+3.3V 電圧
MCH Vcc	• オプションなし	GMCH コア電圧
CPU 1 Vccp	• オプションなし	CPU コア電圧
CPU Cooling Fan	• オプションなし	CPU ファン速度(rpm)
Chassis Inlet Fan	• オプションなし	フロント・シャーシファン速度(rpm)
Chassis Outlet Fan	• オプションなし	リア・シャーシファン速度(rpm)

## Chipset Configuration サブメニュー

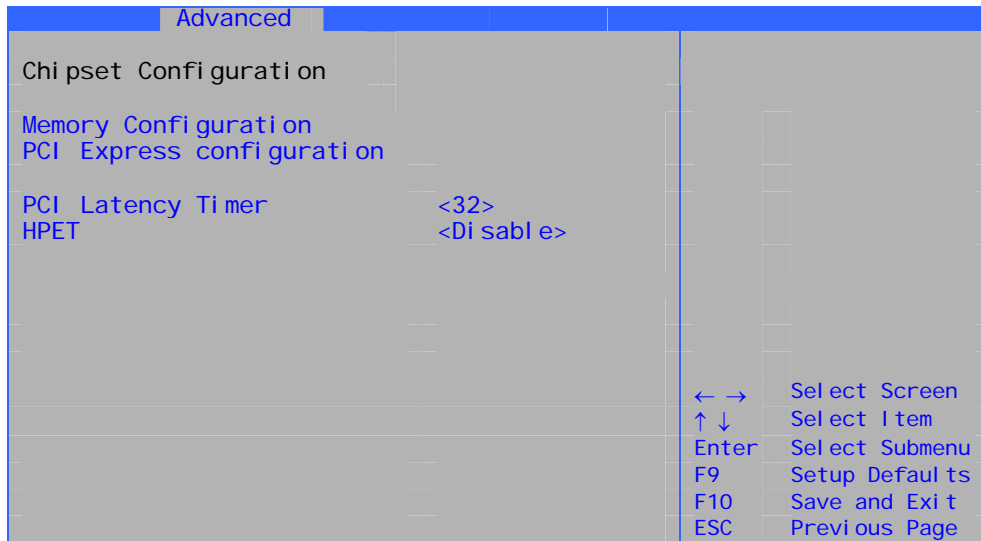


表 13に示すサブメニューは高度なチップセット機能を設定するために使用します。

表 13. Chipset Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
Memory Configuration	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブメニュー表紙</li> </ul>	メモリーデバイスの手動設定
PCI Express configuration	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブメニュー表紙</li> </ul>	PCI Express バスの手動設定
PCI Latency Timer	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>32 (工場出荷時)</b></li> <li>64</li> <li>96</li> <li>128</li> <li>160</li> <li>192</li> <li>224</li> <li>248</li> </ul>	PCI の遅延時間を設定
HPET	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>Enable</li> </ul>	High Precision Event Timer の有効または無効

## Memory Configuration サブメニュー

Advanced			
Memory Configuration			
SDRAM Control		<Automatic>	
Current Memory Speed	667 MHz		
Current Memory Setting	5-5-5-15		
Total Memory	XXXX MB		
Memory Mode	Dual Channel		
Memory Channel A:			
Slot 0:	XXX MB (DDR2 667) SPD: X-X-X-XX		
Slot 1:	Not Installed		
Memory Channel B:			
Slot 0:	XXX MB (DDR2 667) SPD: X-X-X-XX		
Slot 1:	Not Installed		
**NOTE**:		SPD defined as Nominal: [tCL]-[tRCD]-[tRP]-[tRASmin]	
		↑ ↓	Select Item
		Enter	Select Submenu
		F9	Setup Defaults
		F10	Save and Exit
		ESC	Previous Page

表 14に示すサブメニューはメモリーの動作を設定するために使用します。

表 14. Memory Configuration サブメニュー

項目	オプション	説明
SDRAM Control	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Automatic (工場出荷時)</b></li> <li>• Manual – User Defined</li> </ul>	メモリータイミングの設定 Automatic はタイミングを検出されたメモリーに合わせてプログラムする Manual – User Defined は検出された SDRAM 設定の手動によるオーバーライドを許可
Current Memory Speed	• オプションなし	SDRAM の動作周波数表示
Current Memory Setting	• オプションなし	メモリーの設定を、 [tCL]-[tRCD]-[tRP]-[tRASmin] の形式で表示。それぞれの意味は下記の通り。  tCL: メモリーの列を指定するのに必要なクロックサイクル数 (Cas Latency) tRCD: メモリーの行を指定してから列を指定するまでのクロックサイクルの数 (Ras to Cas Delay) tRP: 新しい行にアクセスするのに必要な時間の長さ (Ras Precharge) tRASmin: リードからプリチャージまでの時間の長さ
Total Memory	• 搭載メモリー容量	認識できている SDRAM の容量の合計を表示
Memory Mode	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Single Channel</li> <li>• Dual Channel</li> </ul>	SDRAM メモリーの動作モードを表示

Memory Channel	• 認識メモリー情報	認識できている SDRAM モジュールの仕様を表示
----------------	------------	---------------------------



#### ノート

メモリーの設定で再起動後にハングアップしてしまった場合、電源オフ後、ジャンパーを2-3に設定し、Configureモードにしてから再起動してください。Configureモードの設定方法については26ページを参照してください。

## PCI Express Configuration サブメニュー

Advanced	
PCI Express Configuration	
PEG Negotiated width	Not Detected
Compliance Test Pattern	<Disable>
↑↓ Select Item Enter Select Submenu F9 Setup Defaults F10 Save and Exit ESC Previous Page	

表 15に示すサブメニューはPCI Expressの動作を設定するために使用します。

**表 15. PCI Express Configuration サブメニュー**

項目	オプション	説明
PEG Negotiated Width	<ul style="list-style-type: none"> <li>オプションなし</li> </ul>	
Compliance Test Pattern	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>Enable</li> </ul>	通常は、Disable で使用



## Security メニュー

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Supervisor Password :		Not Installed			
User Password :		Not Installed			
Set Supervisor Password					
Set User Password					
				← →	Select Screen
				↑ ↓	Select Item
				Enter	Select Submenu
Expansion Card Text		<Disable>		F9	Setup Defaults
Chassis Intrusion		<Disable>		F10	Save and Exit
XD Technology		<Enable>		ESC	Previous Page

表 17に示すメニューはパスワードおよびセキュリティー機能を設定するために使用します。

表 17. Security メニュー

以前にパスワードを入力していない場合:		
項目	オプション	説明
Supervisor Password	Not Installed Installed	スーパーバイザー・パスワードが設定されているかどうかの状態表示
User Password	Not Installed Installed	ユーザーパスワードが設定されているかどうかの状態表示
Set Supervisor Password	パスワードは英数字で 2 文字以上、19 文字以内	スーパーバイザー・パスワードを指定 (Confirm 表示後、同じパスワードを入力)
Set User Password	パスワードは英数字で 2 文字以上、19 文字以内	ユーザーパスワードを指定 (Confirm 表示後、同じパスワードを入力)
Expansion Card Text	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>• Enable</li> </ul>	
Chassis Intrusion	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>• Enable</li> </ul>	シャーシ開口検出機能の有効または無効
XD Technology	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	XD Bit テクノロジー機能の使用設定



## Boot メニュー

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Boot Menu Type	<Normal >				
Boot Device Priority	<CD/DVD-ROM Drive> <Floppy Drive> <Hard Disk Drive> <Ethernet>				
Hard Drive Order	<Hard Disk Drive>				
CD/DVD-ROM Drive Order	<Hard Disk Drive>				
Removable Drive Order	No Removable Drive				
Boot to Optical Devices	<Enable>				
Boot to Removable Devices	<Enable>				
Boot to Network	<Enable>				
USB Boot	<Enable>				← → Select Screen
Zip Emulation Type	<Floppy>				↑ ↓ Select Item
Boot USB Devices First	<Disable>				Enter Select Submenu
USB Mass Storage Emulation Type	<Auto>				F9 Setup Defaults
UEFI boot	<Disable>				F10 Save and Exit
					ESC Previous Page

表 19に示すメニューは、ブート機能とブートシーケンスを設定するために使用します。

表 19. Boot Menu Type (Normal) メニュー

項目	オプション	説明
Boot Menu Type	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Normal (工場出荷時)</b></li> <li>• Advance</li> </ul>	起動メニューの表示設定
Boot Device Priority	<CD/DVD-Rom Drive> <Floppy Drive> <Hard Disk Drive> <Ethernet> 等	利用可能な種類の起動デバイスについて起動する優先順位を指定  ({{+}}キーを使って設定し、Enter を押す)
Hard Drive Order		利用可能なハードディスク・ドライブの優先順位を指定
CD/DVD-Rom Drive Order		利用可能な ATAPI ドライブの優先順位を指定
Removable Drive Order	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オプションなし</li> </ul>	
Boot to Optical Devices	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	起動メディアとして CD/DVD が有効かを設定
Boot to Removable Devices	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	起動メディアとして FDD が有効かを設定
Boot to Network	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	PXE boot to LAN の無効または有効
USB Boot	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable</li> <li>• <b>Enable (工場出荷時)</b></li> </ul>	USB 起動デバイスからの起動の無効または有効
ZIP Emulation Type	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Floppy (工場出荷時)</b></li> <li>• Hard Disk</li> </ul>	ZIP ドライブのメディアタイプの扱い設定
Boot USB Devices First	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disable (工場出荷時)</b></li> <li>• Enable</li> </ul>	USB デバイスを最初の起動デバイスとして設定

USB Mass Storage Emulation Type	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Auto (工場出荷時)</b></li><li>• All Removable</li><li>• All Fixed Disc</li><li>• Size</li></ul>	USB メモリーなどの記憶デバイスの、メディアタイプの扱い設定
Emulate Floppy for all USB storage device below (in MB):	<ul style="list-style-type: none"><li>• (数字を入力)</li></ul>	USB Mass Storage Emulation Type で「Size」を選択した場合のみ表示。エミュレートする USB メディアのサイズを指定
UEFI boot	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Disable (工場出荷時)</b></li><li>• Enable</li></ul>	UEFI boot 機能の無効または有効

## Boot Menu Type (Advance) メニュー

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Boot Menu Type	<Advance>				
Boot Device Order	<Floppy Drive> <CD/DVD-ROM Drive> <Hard Disk Drive> <IBA GE Slot 00C8>				
Boot to Optical Devices	<Enabl e>				
Boot to Removable Devices	<Enabl e>				
Boot to Network	<Enabl e>				
USB Boot	<Enabl e>			← →	Select Screen
Zip Emulation Type	<Floppy>			↑ ↓	Select Item
Boot USB Devices First	<Di sabl e>			Enter	Select Submenu
USB Mass Storage Emulation Type	<Auto>			F9	Setup Defaul ts
UEFI Boot	<Di sabl e>			F10	Save and Exit
				ESC	Previous Page

表 20に示すサブメニューは、起動デバイスの優先順位を設定するために使用します。

表 20. Boot Menu Type (Advance) メニュー

項目	オプション	説明
Boot Menu Type	<ul style="list-style-type: none"> <li>Normal</li> <li>Advance</li> </ul>	起動メニューの表示設定
Boot Device Order	<Floppy Drive> <CD/DVD-ROM Drive> <Hard Disk Drive> <IBA GE Slot 00C8>等	利用可能な種類の起動デバイスについて起動する優先順位を指定(デバイスを直接表示し、その順位を決定) ※表示内容は接続するデバイスにより異なります。 ({+})キーを使って設定し、Enterを押す)
Boot to Optical Devices	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable</li> <li>Enable (工場出荷時)</li> </ul>	起動メディアとして CD/DVD が有効かを設定
Boot to Removable Devices	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable</li> <li>Enable (工場出荷時)</li> </ul>	起動メディアとして FDD が有効かを設定
Boot to Network	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable</li> <li>Enable (工場出荷時)</li> </ul>	PXE boot to LAN の無効または有効
USB Boot	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable</li> <li>Enable (工場出荷時)</li> </ul>	USB 起動デバイスからの起動の無効または有効
ZIP Emulation Type	<ul style="list-style-type: none"> <li>Floppy</li> <li>Hard Disk</li> </ul>	ZIP ドライブのメディアタイプの扱い設定
Boot USB Devices First	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable (工場出荷時)</li> <li>Enable</li> </ul>	USB デバイスを最初の起動デバイスとして設定
USB Mass Storage Emulation Type	<ul style="list-style-type: none"> <li>Auto (工場出荷時)</li> <li>All Removable</li> <li>All Fixed Disc</li> <li>Size</li> </ul>	USB メモリーなどの記憶デバイスの、メディアタイプの扱い設定
Emulate Floppy for all USB storage device below (in MB):	<ul style="list-style-type: none"> <li>(数字を入力)</li> </ul>	USB Mass Storage Emulation Type で「Size」を選択した場合のみ表示。エミュレートする USB メディアのサイズを指定
UEFI boot	<ul style="list-style-type: none"> <li>Disable (工場出荷時)</li> <li>Enable</li> </ul>	UEFI boot 機能の無効または有効

## Exit メニュー

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Exit Saving Changes					
Exit Discarding Changes					
Load Optimal Defaults					
Load Custom Defaults					
Save Custom Defaults					
Discard Changes					

表 21に示すメニューは変更を保存、およびデフォルトをロード、保存してBIOSセットアップ・プログラムを終了するために使用します。

表 21. Exit メニュー

項目	説明
Exit Saving Changes	終了し、変更を CMOS SRAM に保存して再起動
Exit Discarding Changes	BIOS セットアップ・プログラムで行った変更を保存せずに終了
Load Optimal Defaults	最適なデフォルトをロード
Load Custom Defaults	セットアップ・オプションのカスタムデフォルトをロード
Save Custom Defaults	現在の設定値をカスタムデフォルトとして保存。通常、BIOS はセットアップ値をフラッシュメモリーから読み込みます。このメモリーが不正の場合、BIOS はカスタムデフォルトを読み込みます。カスタムデフォルトが設定されていない場合、BIOS は工場出荷時デフォルトを読み込みます
Discard Changes	セットアップを終了せずに変更を破棄する。コンピューターの電源が投入された時点のオプション値が使用される

注)BIOS アップデート時に、Custom Default 設定値が、初期化される場合がありますので、ご注意ください。

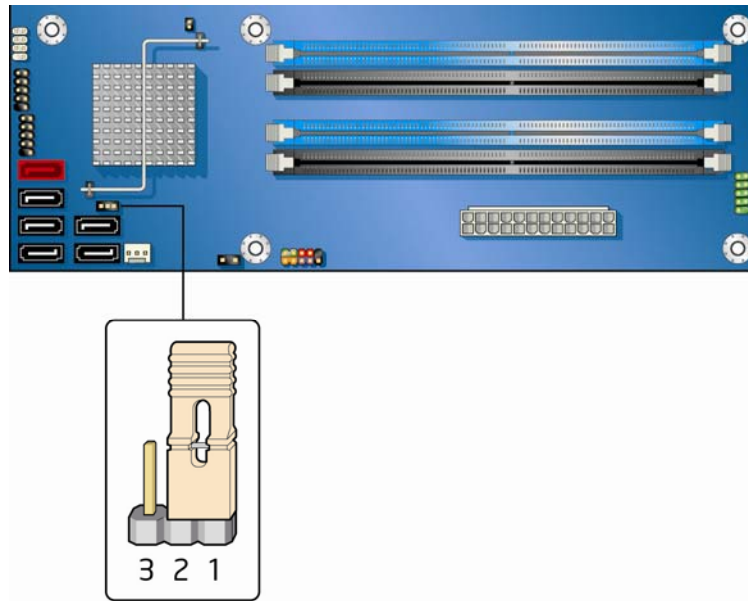
## BIOS コンフィグレーション・ジャンパーの設定



### ノート

ジャンパーの設定を変更する前に、必ず電源を切ってコンピューターから電源コードを抜いてください。電源を入れたままジャンパーを変更すると、コンピューターの動作に支障をきたす原因になります。

図 1に、デスクトップ・ボードのBIOSコンフィグレーション・ジャンパー・ブロックの配置位置を示します。

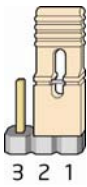
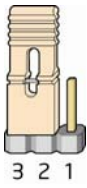
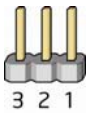


OM20121

図 1. BIOS コンフィグレーション・ジャンパー・ブロックの位置

3ピンのBIOSジャンパーブロックを使用すると、BIOSセットアップ・プログラムで実行したボードの設定がすべて有効になります。表 22に、BIOSセットアップ・プログラム・モードごとのジャンパー設定を示します。

表 22. BIOS セットアップ・プログラム・モードごとのジャンパー設定

ジャンパー設定	モード	説明
 <p>3 2 1</p>	Normal (1-2) (工場出荷時)	BIOS は現在の設定および起動時のパスワードを使用します。
 <p>3 2 1</p>	Configure (2-3)	自己診断テスト(POST)の実行後、BIOS は Maintenance Menu を表示します。このメニューから、パスワードをクリアできます。
 <p>3 2 1</p>	Recovery (なし)	BIOS アップデートの失敗時に、BIOS のデータをリカバーします。